



概要

設立年月 昭和63年4月

代表者 学 校 長 尾方 徳一（おがた とくいち）
顧問教諭 中川留美子（なかかわ るみこ）

会 員 数 23人

住 所 鹿本郡鹿本町大字来民2055

主な活動地 山鹿市、鹿本町ほか県内外

鹿本農業高等学校郷土芸能伝承部は、昭和六十三年の全国高等学校総合文化祭「熊本大会」での演技を皮切りに発足し、以来本県を代表する郷土芸能である「山鹿灯笼踊り」の継承・発展に大きく寄与しています。発足当初は音楽のテーマに合わせ踊りのみの演技でしたが、平成五年度から地方じかた(伴奏と歌)の育成に取り組み、平成七年度からは地方と踊りを合わせて発表を実施しています。農業高校であり、放課後の当番実習等で練習時間が不足しがちなため、その分は合宿などで補なっています。

熊本県で行われる各種全国大会の式典には欠かせない存在で、他県からの選手・役員に熊本の優雅な伝統文化を披露しています。一般に祭りの踊りは「動的」的なものが多いなか、「山鹿灯笼踊り」は「静」的な動きが中心であり、優雅でしとやかな動きを表現するために練習を重ね、その幻想的な踊りは県内外の多くの方々に大きな感銘を与えています。全国高等学校総合文化祭には過去五回出場しており、県内だけでなく、全国的にも特に優秀な団体であると評価されています。

今年度は「第六回佐賀県かしま伝統芸能フェスティバル」や「東京熊本県人会五十周年記念式典オープニング」など県内外の約三十のイベントに出演し、福祉施設などでも踊りを披露するなど精力的に活動しています。

創部以来、このように積極的に活動を行い、「山鹿灯笼踊り」の保存、継承に努めたその功績は大きく、今後也十分な活躍が期待されます。

これまでの活動歴

昭和六十三年創部	(一九八八)	第十二回全国高等学校総合文化祭「熊本大会」出演
平成三年	(一九九一)	全国高等学校家庭クラブ研究発表大会出演
平成四年	(一九九二)	第十六回全国高等学校総合文化祭「沖繩大会」出演
平成五年	(一九九三)	地方(唄・和笛・三味線・太鼓)の養成開始
平成七年	(一九九五)	第十二回火の国旗全国高等学校空手道優勝大会出演 地方(じかた)と合わせての演技披露が可能になる
平成八年	(一九九六)	第二十回全国高等学校総合文化祭「北海道大会」出演
平成九年	(一九九七)	台湾・熊本県友好歓迎レセプション出演 国際青少年音楽フェスティバル出演
平成十年	(一九九八)	第八回国民文化祭おいた九八出演
平成十一年	(一九九九)	第二十三回全国高等学校総合文化祭「山形大会」出演
平成十二年	(二〇〇〇)	ひのくに新世紀総体五五〇日前フェスティバル出演 全国老人福祉施設研究大会出演
平成十三年七月	(二〇〇一)	高松宮杯第四十二回全日本実業団ハンドボール選手権大会出演
平成十四年八月	(二〇〇三)	第七回全国高校生生活科学科教育研究協議会熊本大会出演
平成十五年九月	(二〇〇三)	技能五輪全国大会くまもと二〇〇二出演
十一月	(二〇〇三)	第六回佐賀県かしま伝統芸能フェスティバル出演 東京熊本県人会五十周年記念式典オープニング出演